

【北野神社文書】 山城

一三四〇

北野御社領加州江沼郡福田庄領家之御代官職之事、當年己歲壹ヶ年分、和泉堺米屋彦左衛門尉仁被仰付候。就其彼仁躰ハ無案内之由候條、爲請人某罷越上者、更以不可有聊尔儀候。若背請文旨、御神用於致無沙汰者、爲拙者以他足請功定於國、拾月中ニ陸拾貫文辨可進納申候。若於無沙汰者、堅可有御催促者也。仍申定狀如件。

請人

天文十八己酉年七月日 上京一條 磯部神左衛門

重 秀 在判

松梅院御奉行所 參

天文十九年 庚戌 紀元二二一〇

十一月八日 本願寺證如、能登守護畠山義續に、加賀の門徒をして同國內の爭議に關係せしめざるべきを報す。

【證如上人書札案】

一三四一

度々預芳翰候。殊錦二端送給候。祝着之至候。仍當國不慮之儀無御心元候。就其加州之事示預候。即申下候之處得其意之由候條、不可有別儀候。隨而雖左道候、織筋三端進之候。猶自霜臺可有傳達候。恐々。

十一月八日

左衛門佐殿 御返報

【證如上人書札案】

一三四二

恩簡令披覽候。仍其方既御籠城之由、千萬無御心元候。先度加州之儀示預候間、即人數等不可相立之旨堅申付候。委細先日御報令申候き、然而只今承候之趣、敢前示下之通相達候條、御分別可有祝着候。更非疎意候。恐々。

左衛門佐殿 御返報

【證如上人書札案】

一三四三

重而預高翰候。仍加州人數之事度々示預候。殊種々御懇

之段令祝着候。雖然堅固申付候。其上物別何方へも合力之儀無之候間、御分別候者可爲喜歡候。恐々。

極月廿二日

左衛門佐殿 御返報

天文二十年 辛亥 紀元二二一一

五月廿三日。畠山義續、山城大德寺興臨院に、父義總塔頭の料所として鳳至郡諸岳村を寄進す。

【東京帝國大學所藏文書】

一三四四

應 祐 在印

能登國鳳至郡諸岳村之事、爲應胤塔頭領所被寄進也。永可被全知行候。仍執達如件。

天文廿年五月廿三日

紹 春 在判  
長 連 在判  
總 廣 在判  
總 知 在判  
總 堅 在判  
續 伊丹

興臨院雜掌

(この時畠山義續は既に家督を子義綱に譲りたるものゝ如し。)

七月廿五日。畠山氏の被官遊佐續光等、山城東福寺栗棘庵に、同庵領鳳至郡志津良莊の公用を還付す。

【栗棘庵文書】 山城

一三四五

東福寺之内栗棘庵領志津良庄公用之内參拾五貫文餘、依有御用近年被押置候。雖然只今如先規被還附候。彌可有全寺務者也。仍執達如件。

天文貳拾年 七月廿五日

溫井備中入道 春 在判  
長九郎左衛門尉 連 在判  
三宅筑前守